

巻 頭 言



日本 ALS 協会北海道支部
支 部 長 山 田 洋 平

2024年度支部定期総会での挨拶!!

日本 ALS 協会北海道支部の総会の開催にあたりまして、一言、ご挨拶を申し上げます。
わたくしは、北海道支部支部長の山田洋平でございます。

いまだに、新型コロナウイルスは、私たちの身近に存在しておりますが、本日は、こうして皆さま、お一人お一人の顔を拝見しながらこの総会が開催されておりますことに喜びを感じているところでございます。

今の私の生活は、無念の涙をのんだ ALS の諸先輩の皆様が築いてくださった ALS の暮らしの知恵と、様々なご苦労の上に成り立っております。私は、この偉大なる諸先輩方の思いをしっかりと引き継ぎまして、日本 ALS 協会北海道支部の支部長として、ALS に苦しんでおられる方のお話に耳を傾けて聞いて参ります。

さて、私は先日、日本 ALS 協会の本部の理事として、横浜に赴き総会と理事会に参加をして参りました。

以前であれば、ズームでのオンライン参加ができ、便利な世の中になったものだと感じておりましたが、実際に、会議で直接顔を合わせてお話ができるのでは、先方への伝わり方がまるで違います。今回の本部の総会と理事会では、私の日本 ALS 協会の理事と、ALS 国際同盟の理事としての果たすべき役割をお伝えしてまいりました。それは、私の友人である歌手のクリスハートと日本 ALS 協会がタッグを組んで、日本国内で ALS の周知活動を徹底して行い、日本国外においては、私の強みである酪農の分野において、世界中の酪農関係の方々にご協力を仰ぎ、1日も早い ALS の治療薬の開発に結びつく募金活動を行っていることをお話しをしました。

私を含めまして、日本 ALS 協会の活動は、会員の皆さまのお力で動くことができております。日本 ALS 協会は、約 40 年間にわたって、ALS 当事者の皆さまの生活の質の向上を目指して活動を続けて参りました。

ときには、国に制度の見直しや新薬の早期承認の陳情を行って参りました。ALS が完全に治る病となるその日まで、日本 ALS 協会は ALS 当事者の皆さまのために働いて参ります。

本日、この会場にお集まりの皆様と、ズームにてご参加の皆様にお願いがございます。まだ、日本 ALS 協会の会員になられてない方と、団体様がいらっしゃれば、ぜひ、この機会に、本日から私たちを助けていただけると嬉しいです。皆様どうぞ宜しくお願い申し上げます。

日本 ALS 協会の活動と同様に、私の全ての活動は、私 1 人の力では、なしえませんが、私には、どこにも負けない私の手となり、足となり、口となって動いてくれる最強のスタッフたちがいます。このスタッフたちのおかげで、私は、日々、動いているのです。

このような、今の私の今の生活の礎を築くきっかけを作ってくださった恩人である中野玄三様が、佐賀県から、本日、この会場にお越しくださっています。中野様には、後ほどご講演をお願いしております。

最後に、私は、ALS を治る病にしたい。そのために、私は命をかけて、日本 ALS 協会の一員として活動を続けて参ります。

皆様、どうぞお力添えをよろしくお願い申し上げます。

(この巻頭言は総会当日の支部長挨拶を掲載しています)

